

病院の 実力

～埼玉編 174

病院の実力「肺がん」 医療機関別2021年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	手術		薬物療法 (人)	根治的な 放射線治療 (人)
	総数 (件)	うち 区域切除 (件)		
埼玉				
埼玉医大国際医療セ	187	3	304	84
県立がんセ	173	26	202	85
埼玉医大総合医療セ	135	9	215	47
春日部市立医療セ	132	24	140	61
さいたま赤十字	130	25	101	60
独協医大埼玉医療セ	128	10	148	27
防衛医大	82	8	24	26
川口市立医療セ	45	0	91	23
上尾中央総合	44	9	73	7
新座志木中央総合	41	3	33	22
深谷赤十字	26	2	61	21
戸田中央総合	18	0	45	20
埼玉石心会	16	1	1	0
埼玉協同	11	0	6	0
さいたま市民医療セ	0	0	50	0
越谷市立	0	0	30	8
東大宮メディカルセ	0	0	6	0
群馬				
群馬大	155	45	102	39
県立がんセ	126	19	78	36
国・高崎総合医療セ	120	29	86	30
公立藤岡総合	54	5	51	14
伊勢崎市民	53	1	55	21
済生会前橋	28	4	6	0
太田記念	24	7	9	0
桐生厚生総合	12	0	62	14
公立富岡総合	4	0	15	5
千葉				
国立がん研究セ東	453	82	458	153
千葉大	172	60	72	38
県がんセ	134	10	75	65
新松戸中央総合	127	24	36	0
亀田総合	112	17	72	70
新東京	87	25	0	0
船橋市立医療セ	85	22	21	38
順天堂大浦安	79	1	100	33
国保旭中央	72	2	121	—
千葉労災	72	10	39	16
国保君津中央	65	9	82	21
東京歯科大市川総合	56	5	50	12
慈恵医大柏	53	4	6	3
成田赤十字	49	2	99	15
千葉西総合	37	2	45	0
国際医療福祉大市川	31	6	37	0
聖隷佐倉市民	27	2	35	18
おおたかの森	21	5	16	0
千葉徳洲会	0	0	0	2

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明

今回は肺がんを取り上げる。一覧表には、2021年の手術件数など治療実績を示した。肺は左右で計五つの「肺葉」からなる。がんは、全体に張

肺がん

薬で免疫機能回復も

り巡らされた気管支やその先にある肺胞にできる。大きく分けて、小細胞肺がん、非小細胞肺がんの二つのタイプがある。

治療は手術、薬物療法、放射線治療があり、がんのタイプや進み具合によっては組み合わせる。

手術の標準的な術式は、がんがある肺葉を丸ごと取り除く「肺葉切除」だが、早期の小さながんを対象に、切除範囲を狭めた「区域切除」や「楔状切除」が広がっている。

心臓機能の低下を防ぎ、階段の昇降など日常動作を維持することを狙う。

がんが進行して転移した場合、薬物療法が中心となる。従来の抗がん剤のほか、がんの遺伝子変異に応じて使う分子標的薬や、がんと闘う免疫の働きを回復させる免疫治療薬も登場し、治療の選択肢が増えている。

放射線治療は、高齢者や持

病のある人も受けやすく、早期ならば、根治も期待できる。多方向からがんを狙い撃ちする「定位照射」や、がんの形や位置に合わせて照射量を調整できる「強度変調放射線治療（IMRT）」も導入されている。正常組織への放射線量を減らし、副作用を抑えることが期待されている。

全国の調査結果は16日の「安心設計面」に掲載しました。